

COVID-19陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策Case Report集計結果(10月5日から10月11日回答分)

	症例数	手術	
陽性患者	2	気管切開	1
		腹腔鏡下手術	1

COVID-19疑い患者	2	帝王切開	1
		開頭術	1

事前シミュレーション実施	あり	4
	なし	0
	記載なし	0

手術室で気管挿管	2	McGrath	1
(喉頭展開1回で挿管)	(1)	AWS	1
区域麻酔	1		
既挿管	1		

PPE	フェイスシールド	1
	ゴーグル	1
	シールド付きマスク	1
	記載なし	0
	N95	4
	PAPR(動力付き)	0
	手袋2枚	4
	手袋1枚	0

自由記載

陽性	気管切開	気管を切る直前から麻酔回路の人口鼻の間の接続を外し、切開口から飛沫が飛び出さないようにした。
	腹腔鏡下手術	緊急手術で、患者はすでに入室していた。麻酔導入直前に抗原検査陽性が判明し、準備に時間を要した。今回使用した手術室は、使用予定の部屋ではなく事前の養生ができなかったため、清拭消毒の上、72時間の使用禁止とした。
疑い	開頭血種除去	麻酔科学会の推奨に従った。